平成 29 年度 第 3 回仙台市泉区区民協働まちづくり事業評価委員会 概要

日 時 平成 30 年 3 月 1 日（木） 11:45～13:30

場 所 泉区役所本庁舎 5 階 512 会議室

出席者 評価委員

岩動志乃夫 委員長，佐藤重子 副委員長，中井裕子 委員，真壁さおり 委員

事務局 まちづくり推進課

次 第 1 開会

2 諸説明

3 協議

平成 30 年度仙台市泉区まちづくり活動助成事業 選考評価

4 閉会

その他 平成 30 年度仙台市泉区まちづくり活動助成事業 事業計画説明会後に開会

【平成 30 年度仙台市泉区まちづくり活動助成事業に申し込みのあった 事業の評価に関する評価委員会の付帯意見等】

1. 地域住民が相互に支え合い助け合う活動の実現

<やまわ会>

- ・世帯調査により地域の課題を拾い上げ，子育て世代の参加も視野に入れた活動は，より効果のある解決方法が図れるものと感じます。
- ・汚れから衣服を守り周知も同時に行える作業着は必要なものと考えますが，もっと地域づくりに経費を配分してはいかがでしょうか。
- ・広報は，活動を行う上で継続して必要になるものと考えますが，印刷物の費用を抑えることも重要と考えます。

2. ママによるママの為のリフレッシュ！ママ講師活動支援

<Ba l l e t o n e E R I（バレトンエリ）>

- ・地域の課題や特性を知り，各世代の交流を図るためにも，活動の拠点づくりが重要になると思います。
- ・地域とつながりを持ち，講師役などにも地域の人材を活用することで，講師料の設定を見直すことができると考えます。
- ・フリースペースが設置されている施設を利用するなど，施設使用料を中心に費用を削減できる方法があると考えます。

3. 深めよう親子の絆！育てよう地域の絆！

＜特定非営利活動法人子育て支援アシスト・エフワン＞

- ・交流活動ごとに参加者全員から意見を集めて、事業効果の確認と課題を知り、改善を重ねていくことは、地域の活性化を図るうえで有効だと感じます。
- ・参加者が土作りから維持管理・収穫に至るまでの全工程に携われると、より強い絆が生まれ、更に継続性も高まると考えます。
- ・収穫祭などの会場設営や調理にも参加者が携われると、事業の自立的発展に進めるものと考えます。

4. 「七北田お散歩手帖」制作事業

＜郷土史サークルいずみのふるさと＞

- ・試作品を作成して実施スケジュールにあるようなフィールドワークを行い、その結果を基に市民のニーズを盛り込んだものとなれば、まちづくりの効果が高く更なる発展を望めるものになると考えます。
- ・そのフィールドワークについては、対象者や実施時期、回数など具体的な内容が詰められていないと感じました。
- ・試作品としての部数を減らして支援金収入で冊子製作費を賄い、フィールドワーク等の活動に経費を充てるべきと考えますが、収支計画で活動の経費が見込まれていません。

5. 第18回芸能ボランティアふれ愛のつどい

＜ボランティアサークルこだま会＞

- ・事業計画や実施スケジュールが会議関係のみで、発表が青葉区とのこともあり、泉区でのまちづくりとなる活動が少ないと感じます。
- ・第18回という一度きりの事業で、今後の発展についても不透明と感じます。
- ・事業の手段や予算内容から、今回だけ特別に助成金が必要な計画とは感じられませんでした。